

平成22年人文学部文化コミュニケーション学科

教員研究業績一覧 (2010. 1. 1—12. 31)

Academic Achievements in 2010 :

Department of Culture and Communication, Faculty of Arts

凡例：

氏名 ①著書 ②論文・研究ノート ③翻訳 ④書評・随筆等 ⑤学会・研究会等での報告 ⑥上記以外の業績

日本語文化講座

- 沖 裕子 ①小林隆・篠崎晃一編『方言の発見—知られざる地域差を知る—』（ひつじ書房，207pp. 執筆者10名，執筆担当「方言談話論の対象と方法」，pp.161-182）[共著] ② 1）「日韓中の外言談話にみる発想と表現—日本語と日本語教育のための基礎的研究—」（『人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』第44号，信州大学人文学部紀要，pp.1-25，第1，2，6，7，8，9章執筆，沖裕子・姜錫祐・趙華敏・西尾純二）[共著] 2）「日本語依頼談話の結節法」（『日本語学研究』第28輯，韓国日本語学会誌，pp.119-136）[単著] ⑤ 1）「日本語依頼談話の結節法」（韓国日本語学会第21回研究大会，2010年3月20日（土），於韓国誠信女子大学，ソウル特別市）[単独] 2）ワークショップ「日本語談話の発想と表現」（社会言語科学会第26回大会，2010年9月5日（日），於大阪大学豊中キャンパス，沖裕子（企画責任者）・姜錫祐・趙華敏・西尾純二，『社会言語科学会第26回大会発表論文集』pp.241-250，p.241，242，249，250執筆）[共同] 3）「国際交流の軌跡と日本語教育がめざすもの」（韓国カトリック大学第12回学術祭，招待講演，2010年11月5日（金），於韓国京畿道富川市）[単独] ⑥ 1）日本語教育学会学会誌査読協力者 2）韓国日本語学会学会誌編集委員 3）日本語学会評議員 4）日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（08年1月～09年11月，第1段審査委員（人文社会系・人文学分野・分科言語学・細目日本語学）） 5）国立国語研究所基幹研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」共同研究者（09年10月～） 6）国立国語研究所独創・発展型研究プロジェクト「大規模方言データの多角的分析」共同研究者（09年10月—） 7）科学研究費補助金基盤研究C課題番号19520389代表者（「日本語的発想と表現との関係に関する対照談話論的研究」1997～2010年度）
- 山田健三 ②「「男手」考—一字津保物語の用例をめぐる平安書記システム記述—」（田島毓堂編『日本語学最前線』，和泉書院，pp.475-499，平成22年5月）[単著] ④「学界展望（2008年～2009年）研究資料（史的研究）」（『日本語の研究』第6巻3号，日本語学会，pp.9-12，平成22年7月）[単著] ⑤「「草仮名」名義考」（第96回国語語彙史研究会，関西大学，平成22年12月4日）[単独]
- 渡邊秀夫 ②「漢文伝と唐代伝奇・物語—『続浦嶋子伝記』をめぐる—」（『和漢比較文学』，第44号，2010年2月，和漢比較文学会，pp.20-36）[単著] ⑤ 1）「信州大学人文学部

- 「学士課程」改革のあゆみ」（平成22年2月10日，於島根大学松江キャンパス→『公開シンポジウム 人文社会科学系学部における学士課程教育構築の現状と課題 実施報告書』，平成22年3月，島根大学法文学部・島根大学教育開発センター，pp.15-19，p.79-84）[単独/共著] 2) 「詩歌の発生論と〈型〉—「古今集序」の理解をめぐる—」（古代文学会連続シンポジウム 〈型〉のダイナミズム—古代文学の普遍と固有一，2010年7月3日，於共立女子大学）[単独] 3) 「古典解釈における「近代」と「前近代」」（西田幾多郎生誕140周年記念シンポジウム 日本文化—その価値観の多様性，2010年11月8日，於ワルシャワ大学中央図書館）[単独] ⑥ 科学研究費補助金（平成22年度～24年度）による研究課題「勅撰和歌集と古代礼楽思想の和漢比較研究」（課題番号22520176）を研究代表者として実施。
- 坂口和寛 ⑤ 「日本語分析ストラテジーの独習型教材において疑似的インターアクションを生み出すインストラクション」（第33回日本語教育方法研究会，平成22年3月27日，東京農工大学）[共同] ⑥ 1) 「日本語教育の必要性」（平成22年度特定非営利活動法人伊那国際交流協会「上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座—第8回」，平成22年8月1日，伊那市生涯学習センター）[単独] 2) 「日本語授業の流れ—タスク・言語活動の考え方」（平成22年度特定非営利活動法人伊那国際交流協会「上伊那地域日本語ボランティア実践研修講座—第15回」，平成22年10月2日，伊那市生涯学習センター）[単独] 3) 「日本語文法の基礎」（平成22年度松本市中央公民館「日本語ボランティア養成講座—第6回」，平成22年11月20日，松本市中央公民館）[単独] 4) 「タスクと言語活動の種類と考え方」（平成22年度松本市中央公民館「日本語ボランティア養成講座—第7回」，平成22年11月27日，松本市中央公民館）[単独]
- 渡邊匡一 ② 1) 「袋中『琉球神道記』の研究」（『古琉球をめぐる文学言説と資料学』，三弥井書店，79-282頁）[単著] 2) 「関東元祖俊海法印—松橋流の東国展開と地藏院流—」（『中世文学と寺院資料・聖教』，竹林舎，476-500頁）[単著] ④ 1) 「聖教」（『祈りの時代—仏さまの美術—』，サンリツ服部美術館，53-58頁）[単著] 2) 「諏訪大明神絵詞と建御名方神」（『諏訪市博物館研究紀要』5，諏訪市博物館，2-3頁）[単著] ⑤ 1) 「『諏訪大明神絵詞』と建御名方神」（1月23日，佛法紹隆寺，諏訪市博物館）[単独] 2) 「諏訪の神様・仏様と御柱祭」（岡谷仏教会，5月16日，平福寺）[単独] 3) 「御嶽神社の資料」（長野民俗の会，12月18日，松本市立博物館）[単独] ⑥ 1) 説話文学会委員（平成19年10月～23年9月） 2) 仏教文学会委員（平成22年4月～26年3月）
- 白井 純 ② 「キリシタン版前期国字版本の仮名用字法について」（『国語国文研究』137号，北海道大学国語国文学会，2010，56-74）[単著] ⑤ 「キリシタン版後期活字の材質について」（『宣教と言語学』プロジェクト研究会，東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所，2010.10.3）[単独]
- 松本和也 ① 1) 『太宰治の自伝的小説を読みひらく「思ひ出」から『人間失格』まで』（立教大学出版会，322頁）[単著] 2) 日本近代演劇史研究会編『岸田國士の世界』（翰林書房，401頁）[共著] 3) 山内祥史編『太宰治研究 第18輯』（和泉書院，246頁）[共著] ② 1) 「作家・太宰治イメージの明暗—白井吉見を手がかりに」（『月刊国語教育』，第29巻第13号，東京法令出版，pp.58-61）[単著] 2) 「戦後メディアのなかの〈永井荷

風)―「浮沈」「勲章」「踊子」を中心に」(『人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』第44号, 信州大学人文学部, pp.117-134) [単著] 3) 「見えないものを見る―平田オリザ・青年団『ソウル市民』試論」(『文芸研究』, 第169集, 日本文芸研究会, pp.27-39) [単著] 4) 「不思議な暗合一太宰治「地球図」・高木卓「獄門片影」・坂口安吾「イノチガケ」」(『太宰治スタディーズ』, 第3号, 「太宰治スタディーズ」の会, pp.145-154) [単著] 5) 「問題領域としての小田嶽夫―「中国」という視座から」(『勉誠通信』, 勉誠出版, 第23号, pp.12-14) [単著] 6) 「昭和一〇年代における魯迅受容一面―佐藤春夫・中野重治・小田嶽夫―」(『立教大学日本文学』, 第104号, 立教大学日本文学会, pp.111-121) [単著] ④ 1) 「触発する白井吉見」(『常念とれんげ』, 第11号, 白井吉見文学館「友の会」, p.2) [単著] 2) 「大國眞希著『虹と水平線 太宰文学における透視図法と色彩』」(『日本文学』, 第59巻第5号, 日本文学協会, pp.104-105) [単著] 3) 「太宰治の自伝的小説を読みひらく―「思ひ出」から『人間失格』まで」(『立教』, 第213号, 立教大学, p.66) [単著] 4) 「太宰治へのアプローチ」(『月刊国語教育』, 第30巻第7号, 東京法令出版, p.81) [単著] 5) 「真銅正宏著『永井荷風・ジャンルの彩り』」(『昭和文学研究』, 第61集, 昭和文学会, pp.144-146) [単著] ⑤ 「日中戦争期の〈魯迅〉表象分析」(「太宰治スタディーズ」の会, 2010年11月22日, コラボ産学官プラザ in TOKYO) [単独] ⑥ 1) 「『人間失格』に探る太宰人気の鍵―人生・文体・シンパシー」(上野が丘公民館教養セミナー, 2010年2月10日, 上田市上野が丘公民館) [単独] 2) 「〈「白樺」100年・上〉セカイ系が継ぐ感覚(コメント)」(『朝日新聞』, 2010年4月3日, 朝日新聞社, 26面) [単独] 3) 「古田晁と近代作家とその家族(太田静子・治子)」(塩尻市立図書館・古田晁記念館, 2010年5月16日, 古田晁記念館) [単独] 4) 「作品―新進作家の檜舞台」(『太宰治スタディーズ』, 第3号, 「太宰治スタディーズ」の会, pp.25-27) [単著] 5) 「信州・文学をめぐる旅」(板橋区・信州大学連携講座, 2010年10月4日・18日・25日・11月8日・22日, 板橋区グリーンカレッジホール) [単独] 6) パネルディスカッション「信州から考える日本の出版文化(コーディネーター)」(塩尻市立図書館・古田晁記念館, 2010年11月14日, 塩尻市市民交流センター「えんぱーく」) [単独]

比較言語文化講座

吉田正明 ② 1) 「プレヴェールと“10月グループ”」(『人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』第44号, 信州大学人文学部紀要, 27-39頁) [単著] 2) 「アラゴンとシャンソン―原詩とその変容―」(『シャンソン・フランセーズ研究』第2号, シャンソン研究会発行, 1-20頁) [単著] ④ 「信州大学におけるフランス語教育の現状」(『APEF 通信』, 財団法人フランス語教育振興協会発行, 1-2頁, 2010年9月30日) [単著] ⑤ 「アラゴンとシャンソン」(「第15回シャンソン研究会」, 於信州大学人文学部, 2010年5月28日) [単独] ⑥ 「シャンソン・トーク」(信州シャンソンを楽しむ会主催「秋のシャンソン祭り in 松本」, 於城山公園下カフェ「憩の森」2F サロン, 2010年10月17日) [単独]

氏岡真士 ② 1) 「『牡丹灯記』と『牡丹亭』」(『人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』第44号, 信州大学人文学部, 135-149頁) [単著] 2) 「兩種“出像”本『水滸』在百十五回諸本中的位置」(『中国古典小説研究』第15号, 中国古典小説研究会, 89-106

頁) [単著]

- 株丹洋一 ②平成21年度人件費ポイント活用による支援事業「世界をリードする大学の先進的環境教育プログラムの調査研究 (スイス・ドイツ) 調査報告」(2010年11月, 信州大学) [共著] ⑤「大学と地域の連携による持続可能な町づくり」(平成21年度環境 ISO プロジェクト研究報告会, 2010年6月24日, 信州大学) [単独] ⑥ 1) 平成21年度～23年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)「ESDとISOの統合による教育効果の高い環境教育プログラムの構築」(課題番号21500867)の研究を代表者として実施 2) 講演:平成21年度安曇野市市民大学講座「かけがえのない地球のための人づくりーISO, ESD, RCEー」(2010年1月29日, 安曇野市穂高会館体育館) [単独]
- 伊藤加奈子 ②「“突然”の意外性」(『信州大学人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』44号, p.p.41-54) [単著]
- 澁谷 豊 ② 1)「金子光晴のパリ暮らしー読書ー」(『Quatre Vents』第8号, 「Quatre Vents」の会, 74-92頁) [単著] 2)「資料論文『日佛評論』について」(松尾邦之助『巴里物語【2010復刻版】』社会評論社, 341-362頁) [単著] 3)「金子光晴のパリ」(『日本比較文学会東京支部研究報告』第7号, 日本比較文学会東京支部, 27-32頁) [単著] ③ エマニュエル・ポーヴ『のけ者』(白水社, 314頁) [単著] ④「『日佛評論(ルヴュ・フランコ・ニッポンヌ)』の頃」(『彷徨月刊』5月号, 彷徨舎, 12-13頁) [単著]
- 野津 寛 ①『ラテン語名句小辞典』, 研究社, 2010年8月23日 [単著] ⑥日仏ギリシア・ローマ学会事務局長として講演会を主催:2010年2月13日(アテネ・フランス), 2010年7月10日(アテネ・フランス)
- 磯部美穂 ②「テキストにおける新造語一名詞複合語の形成過程とその意味解釈ー」(Sprachwissenschaft Kyoto 9, 2010年5月, 京都ドイツ語学研究会, 45-57頁) [単著] ⑥辞書編集, 『アクセス独和辞典』第3版, 三修社, 2010年4月発行

英米言語文化講座

- 清水 明 ②「*The Painted Veil*の映画版をめぐる」(*Cap Ferrat* 第7号, 日本モーム協会, 25-30頁) [単著] ⑤「映画 *The Razor's Edge* における Maugham の登場人物について」(日本モーム協会, 6月27日, 東洋大学) [単独] ⑥「*Gulliver's Travels*の世界」(東信高等学校図書館協議会, 1月29日, 長野県立岩村田高等学校) [単独]
- 飯岡詩朗 ①『アメリカ文化入門』[杉野健太郎編] (三修社) [共著] ④「〈身振り〉の直接性への信頼 ピーピング・トムは今村昌平『檀山節考』をこのように見た(かもしれない)」(世田谷パブリックシアター主催ピーピング・トム公演『ヴァンデンブランデン通り32番地』10月23日-25日・世田谷パブリックシアター:10月30日・まつもと市民芸術館)パンフレット [単著] ⑤「もう「父親」なんていない? 『花嫁の父』と1950年代アメリカにおける「男らしさ」の再定義」(日本映像学会第36回大会・5月30日・日本大学(東京)) [単独] ⑥まつもと市民芸術館主催「ピーピング・トム公演『ヴァンデンブランデン通り32番地』関連企画・トークセッション 石井達朗 × 北村明子 × 飯岡詩朗」(9月30日・まつもと市民芸術館小ホール) [共同]
- 伊藤 盡 ①成蹊大学人文叢書7成蹊大学人文学会編『探究するファンタジー:神話からメ

- アリー・ポピンズまで』(風間書房), 第6章「トールキンのファンタジー: 想像力の源泉としての中世英語・北欧語文献学」(pp.181-225) 担当 [共著] ② 1) 「中英語詩 *Havelok* における *ut* 再考: Separable verbs の particle 分離過程」『信州大学人文学部人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』44 (2010), pp.55-64. [単著] 2) ‘The Gosforth Fishing Stone and *Hymiskviða*: An Example of Inter-Communicability between Old English and Old Norse Speakers’ *Scripta Islandica, Isländska sällskapets årsbok* 60/2009 (2010), pp.137-57 [単著] 3) 「北欧ゴシックとモリス, ラスキン. そして… ラスキンの『秘書』コリングウッド」『ラスキン文庫だより』第59号, pp.9-12. [単著] ④ John Grigsby, *Beowulf and Grendel: The Truth behind England's Oldest Legend* (London: Watkins, 2005, 256pp.) *Studies in Medieval English Language and Literature* 24 (2009), pp77-84. (日本中世英語英文学会) ⑤ 1) 「ゴスフォースの絵画石碑とエッダ詩『ヒュミルの歌』: 古英語話者と古北欧語話者間の相互交流のケース・スタディ」(2010年度日本アイスランド学会, 5月22日, 於駒澤大学) [単独] 2) (シンポジウム) 「ラスキン・シンポジウム 中世主義とラスキン, ラファエル前派」((財)ラスキン文庫, 7月3日, 於中央大学駿河台記念館) ⑥ 1) (社会人講座) 「別世界ファンタジーを読む」東急セミナー BE 渋谷校 (毎月1回1月~12月) 2) (講演会) 「ファンタジーの英語学: 英語史教員が味わうジレンマと映画『ロード・オブ・ザ・リング』の微妙な関係」(信州大学人文学部後援会講演会, 7月17日, 於信州大学人文学部) 3) (講演会) 「エルフ語講座 信州合宿編」(主宰 リヴンデル之賢人会議, 10月17日, 於白馬ペンショントマト) 4) (学会諸活動) 日本アイスランド学会ホームページ管理委員 (2010年1月~12月) 5) (学会諸活動) 日本中世英語英文学会全国大会準備委員 (2010年1月~12月)
- 杉野健太郎 ① 1) 杉野健太郎編著『アメリカ文化入門』, 三修社 (ISBN: 978-4-384-05567), 2010年7月 [単編著] 2) 下楠昌哉編著『イギリス文化入門』, 三修社 (ISBN: 978-4-384-05566), 2010年7月 [共著] 3) 杉野健太郎編著『映画とネイション』, 映画学叢書 (加藤幹郎監修), ミネルヴァ書房 (ISBN: 978-4-623-05907-2), 2010年12月 [単編著] ⑤ 1) 研究発表: 日本映像学会第36回全国大会, 「ドリーミング・アメリカ — 『フィールド・オブ・ドリームス』とネイション」, 2010年5月30日, 日本大学芸術学部 [単独] 2) 研究発表: 日本アメリカ文学会中部支部6月例会, 「ドリーミング・アメリカ — 映画『フィールド・オブ・ドリームス』とネイション」, 2010年6月19日, 愛知淑徳大学星ヶ丘キャンパス [単独] 3) 信大出前講座: 「リスニングの導入と英語教育の展望」, 長野県高等学校教育文化会議下伊那支部, 下伊那農業高等学校, 2010年9月11日 (土) [単独] ⑥ 1) 記事「学会誌『映画研究』第4号の編集を終えて」/「第2回 (2009年度) 日本映画学会賞の選考経過について」, 「日本映画学会会報」第21号 (2010年2月号) [<http://jcs.h.kyoto-u.ac.jp/kaihou11.html>] [単著] 2) 学会発表記録: 杉野健太郎「F・スコット・フィッツジェラルドとアメリカン・ドリーム」, 『中部アメリカ文学』第13号 (2010年4月), 34-35 [単著] 3) 学会誌編集委員会委員長: 日本映画学会学会誌『映画研究』第5号 (2010年12月刊行)
- 花崎美紀 ② 1) 「『事態間読み込み』という観点からみる *As* の意味論」(『人文紀要人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』), 44, 65-76) [単著] 2) 「間主観性の観点

からみるAsの意味論」(『言語の間主観性—認知・文化の多様な姿を探る』, 早稲田大学出版会, 13-33) [単著] ⑤ 1) "The Semantics of As: Intersubjectivity in Polysemy" ELSJ International Spring Forum 2010, April 25, 2010 [単独] 2) 日本語および英語, それぞれの言語文化に見られる相同性についての一考察—Asの意味論を中心に—, 言語と人間 (HLC), 2010年9月25日 [単独・招待] ⑥ 1) 信州大学人文学部と松本秀峰中等教育学校の連携協定締結

芸術コミュニケーション講座

船津和幸 ② 「『演戯の鏡』 (*Abhinayadarpana*) 翻訳ノート(4)」(『信州大学人文科学研究論集・文化コミュニケーション学科篇』第44号, pp.87-105) [単著] ⑥ 1) 芸術コミュニケーション講座公開講座「クラシックの音故知新」(第8回)(まつもと市民芸術館共催・テレビ信州助成, 企画・コーディネーター)(まつもと市民芸術館, 2010.2.20) 2) 芸術コミュニケーション講座公開講座「オペラ学・オペラ楽」(第1~5回)(まつもと市民芸術館共催・テレビ信州助成, 企画・コーディネーター)(まつもと市民芸術館, 2010.6.12, 7.17, 9.18, 10.23, 11.20) 3) 演劇パフォーマンス「エーカラヴィヤの親指」(国際交流基金 JENESYS, まつもと市民芸術館共催, 企画・総合プロデューサー)(まつもと市民芸術館, 2010.7.22)

金井 直 ① 諸川春樹編『彫刻の解剖学』(『勝利のウェヌスとしてのパオリーナ・ボルゲーゼ—カノーヴァと新古典主義』を分担執筆) ありな書房 [共著] ③ ボンフォード『絵画の保存』ありな書房 [単独訳] ④ 1) 「ボルゲーゼ家の彫刻三態—古代彫刻, ベルニーニ, カノーヴァ—」『視る』(京都国立近代美術館ニュース) 445号 [単著] 2) 「三輪美津子 MITSUKO MIWA 1985-2009」『REAR』第24号 [単著] 3) 「今村哲個展『いない』」『REAR』第24号 [単著] ⑥ シンポジウム「絵画の時代—ゼロ年代の地平から」(国立国際美術館, 2010年1月23日) [共同]

北村明子 ② 1) 「身体の技法/映像から舞台へ—Artzoyd 新作ビデオオペラ『KAIRO』における振付方法論—」(美術解剖学雑誌, 14号(1), 平成22年9月) [単著] 2) 「劇場から遠く離れて」(セゾン文化財団 viewpoint, 51号, 平成22年5月28日) [単著] ④ 「濃密に交わる木と身体—神聖なものに変える魔術—」(信濃毎日新聞, 平成22年5月12日) [単著] ⑥ (舞台作品・振付) 1) 「現代能」(国際交流基金主催, 日本—トルコ共和国友好120周年記念 オープニング作品, アンカラ土日基金本部, 平成22年1月4日) [共同演出・振付] 2) 創作オペラ「金剛蔵王」(国際交流基金主催, 日本—トルコ共和国友好120周年記念 アンカラ国立オペラ座オペレッタ, イスタンブール国立劇場, 平成22年1月6日・9日) [単独振付・出演] 3) 現代劇「レストラン」(国際交流基金主催, 日本—トルコ共和国友好120周年記念 アンカラ国立オペラ座オペレッタ, イスタンブール国立劇場, 平成22年1月7日・8日) [単独振付・出演] 4) YAMAHACM「上原ひろみ×レニ・バツ」(YAMAHA, Dentsu, 二番工房, 平成22年5月) [単独振付・出演] 5) 現代劇「イタリアンレストラン」(第10回静岡文化芸術大学 特別公開講座主催, 静岡文化芸術大学講堂, 平成22年10月6日) [共同演出・単独振付・出演] 6) "Les Particules Noires" (Artzoyd 主催, Centre des Arts d'Enghien-les-Bains, 平成22年11月20

日) [共同演出・単独振付／出演] (講演会・レクチャー) 1) 「お面の裏側」第10回 (静岡文化芸術大学 特別公開講座第10回静岡文化芸術大学 特別公開講座主催, 静岡文化芸術大学講堂, 平成22年10月5日) [共同] 2) 「ピーピング・トム『ヴァンデンプランデン通り32番地』開催企画 トーク・セッション／アフタートーク」(まつもと市民芸術館主催, まつもと市民芸術館小ホール／実験劇場, 平成22年9月30日・10月30日) [共同]